

前橋商 敗退

夏の
甲子園
第92回



エース野口力尽きる

北大津-前橋商 2回表
北大津1死三塁、スクイズの打球を投手野口が好返球、捕手原田が本塁を死守する=甲子園

▶2回戦										
北大津(滋賀)	0	0	1	2	0	0	4	2	0	9
前橋商	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3

第92回全国高校野球選手権大会第8日の14日、甲子園球場の2回戦で前橋商は3-9で北大津(滋賀)に敗れた。同点から、終盤七、八回で6点を失い、毎回の18安打を放った北大津の打力に屈した。

七回表1死後、北大津の上位打線に長短4連続安打を喫して2失点。左腕のエース野口亮太投手(3年)から、2番手の同じ左腕、狩野亜也投手(同)にスイッチしたが、この回と八回、長打を許してさらに失点した。

先行されたが、中盤までは追いついた。三回、斎藤拓也選手(同)が同点の犠飛。六回には箱田昌太選手(同)、沢浦礼将選手(同)の適時打で追いついた。

好守を再三見せた。二回表1死三塁のスクイズは野口投手が本塁へグラブトスしてタッチアウトに仕留め、五回表1死一塁では、後藤駿太選手(同)が中飛をダイビングキャッチして一塁へ送球、併殺を奪った。